

|        |            |     |     |    |     |
|--------|------------|-----|-----|----|-----|
| 教科(科目) | 芸術（書道Ⅰ）    | 単位数 | 2単位 | 学年 | 1学年 |
| 使用教科書  | 光村図書出版『書Ⅰ』 |     |     |    |     |
| 副教材等   | なし         |     |     |    |     |

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

|                |  |
|----------------|--|
| グラデュエーション・ポリシー | <p>卒業までにこのような資質・能力を育みます。</p> <p>①明確な目標を設定し、その達成に向けて継続的に努力できる力を育成します。</p> <p>②主体的・意欲的に学びに向かう姿勢と、誠実で礼儀正しい態度を育成します。</p> <p>③前向きに自己の向上に努め、思いやりを持って行動できる力を育成します。</p> <p>④自ら課題を見つけて解決しようと行動し、社会に貢献する力を育成します。</p>   |
| カリキュラム・ポリシー    | <p>上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います。</p> <p>①基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、ICTの活用など工夫をし、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう「分かる」授業の実践・改善に努めます。</p> <p>②総合的な探究の時間では、教科等横断的な視点で、地域社会と自己との関わりから課題を発見し、多様な他者と協働して解決しようとする活動に取り組みます。</p> <p>③生徒個々の持っている長所・能力を最大限伸ばし、生徒が自らの可能性に挑戦し、進路希望を実現できるようキャリア教育を推進します。</p> <p>④社会に貢献する姿勢を身に付けさせるために、新潟県立大学との交流、地域行事への参加、ボランティア活動などへの積極的な参加を促進します。</p> |

### 2 学習目標

|  |
|--|
| <p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p> |
|--|

### 3 指導の重点

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・書における幅広い表現の基礎を学び、創作活動に必要な技能を高める。</li> <li>・様々な書の表現活動を通して、書の美しさを感じ取る感性を高め、表現する楽しさや喜びを味わう。</li> <li>・表現及び鑑賞における幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。</li> </ul> |
|---|

### 4 評価の観点の趣旨

| 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度                                       |
|---|--|---|
| <p>・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。</p> <p>・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するための基礎的な技能を身に付け表現している。</p> | <p>・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。</p> | <p>・書の伝統と文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。</p> |

## 5 評価方法

|      |   |   |  |
|------|---|---|--|
|      | 各観点における評価方法は次のとおりです。  |   |  |
|      | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨書や鑑賞への取り組みの観察</li> <li>・ 提出作品の技能や表現の分析</li> <li>・ 提出物、ワークシートの内容の確認などから評価します。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨書や発表への取り組みの観察</li> <li>・ 提出作品の技能や表現の分析</li> <li>・ 提出物、ワークシート内容の確認</li> <li>・ 振り返りシートの記述の分析などから評価します。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席状況</li> <li>・ 学習活動への参加の仕方や態度</li> <li>・ 作品ファイル整理状況</li> <li>・ 振り返りシートの提出状況などから評価します。</li> </ul> |
|      | 内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。   |   |  |

## 6 学習計画

|                  | 単元名  | 教材名  | 学習活動(指導内容)  | 時間     | 評価方法  |
|------------------|--|--|---|--------|---|
| 4                | ・オリエンテーション   | ・書写から書道へ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「書写」と「書道」関連及び違いについて理解する。</li> <li>・ 年間計画や用具用材・授業の取り組みについて理解する。</li> </ul>                              | 2      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品内容<br/>(作品の分析)</li> <li>・ ワークシート<br/>(記述の点検)</li> </ul>                    |
| 4<br>5<br>6<br>7 | ・楷書の学習   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 孔子廟堂碑</li> <li>・ 九成宮禮泉銘</li> <li>・ 雁塔聖教序</li> <li>・ 顔氏家廟碑</li> <li>・ 牛橛造像記</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書体の変遷や楷書の古典にふれ、書の歴史と表現の広さを理解する。</li> <li>・ 楷書の古典の鑑賞と臨書を通して、用筆・運筆・字形の取り方を学び、楷書の基本的な用筆法を習得する。</li> </ul> | 15     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の取り組み</li> <li>・ 出席状況<br/>(行動の確認)</li> </ul>                               |
| 8                | ・行書の学習   | ・蘭亭序   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行書の古典の鑑賞と臨書を通して、用筆・運筆・字形の取り方を学び、行書の基本的な用筆法を習得する。</li> </ul>  | 6      |   |
| 9                | ・ 競書大会作品制作   | ・ 漢字   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書体の特徴を理解し、出品作品を制作する。</li> </ul>  | 6      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品内容<br/>(作品の分析)</li> </ul>  |
| 10               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行書の学習</li> <li>・ 篆刻の学習</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風信帖</li> <li>・ 姓名印</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蘭亭序の活動内容と同様</li> <li>・ 篆刻の用具用材・技法について理解する。</li> </ul>  | 7<br>1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート<br/>(記述の点検)</li> </ul>  |
| 11               | ・ 仮名の学習  | ・ 蓬萊切  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の成立や種類、単体や連綿について理解する。</li> <li>・ 古筆の鑑賞と臨書を通して、仮名の基本的な用筆法を習得する。</li> </ul>                            | 9      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の取り組み</li> <li>・ 出席状況<br/>(行動の確認)</li> </ul>                               |
| 12               | ・ 実用書  | ・ 年賀状の作成   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの表現技法を生かし、毛筆による年賀状を作成する。</li> </ul>  | 6      |   |
| 1                | ・ 仮名の学習  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高野切第三種</li> <li>・ 寸松庵色紙</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の運筆のリズムをつかみ、短冊や散らし書きによる表現技法を習得する。</li> </ul>   | 8      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品内容<br/>(作品の分析)</li> </ul>  |
| 2<br>3           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字仮名交じりの書の学習</li> </ul>           | ・ 作品制作   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な言葉や詩文を題材に、漢字と仮名の調和を図り、用具用材や字形、構成を工夫して作品を制作する。</li> <li>・ 自分や他の生徒の作品を鑑賞する。</li> </ul>                | 10     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート<br/>(記述の点検)</li> <li>・ 授業の取り組み</li> <li>・ 出席状況<br/>(行動の確認)</li> </ul> |

計70時間 (50分授業)

## 7 課題・提出物等

毎時間、作品もしくはワークシートの提出があります。提出物の内容については指示に従い丁寧に取り組みましょう。

## 8 担当者からの一言

書道 I では、日本と中国の各時代の書にふれ、多様な技法や表現を学習します。人によって「いいな」と感じる感性は異なるので、様々な角度から作品のよさを味わい、自分の表現を見つけていきましょう。また、筆や硯などの用具・用材の取り扱いや後片付けも丁寧に行い、落ち着いた姿勢で授業に取り組むことが大切です。(担当：吉田香織)